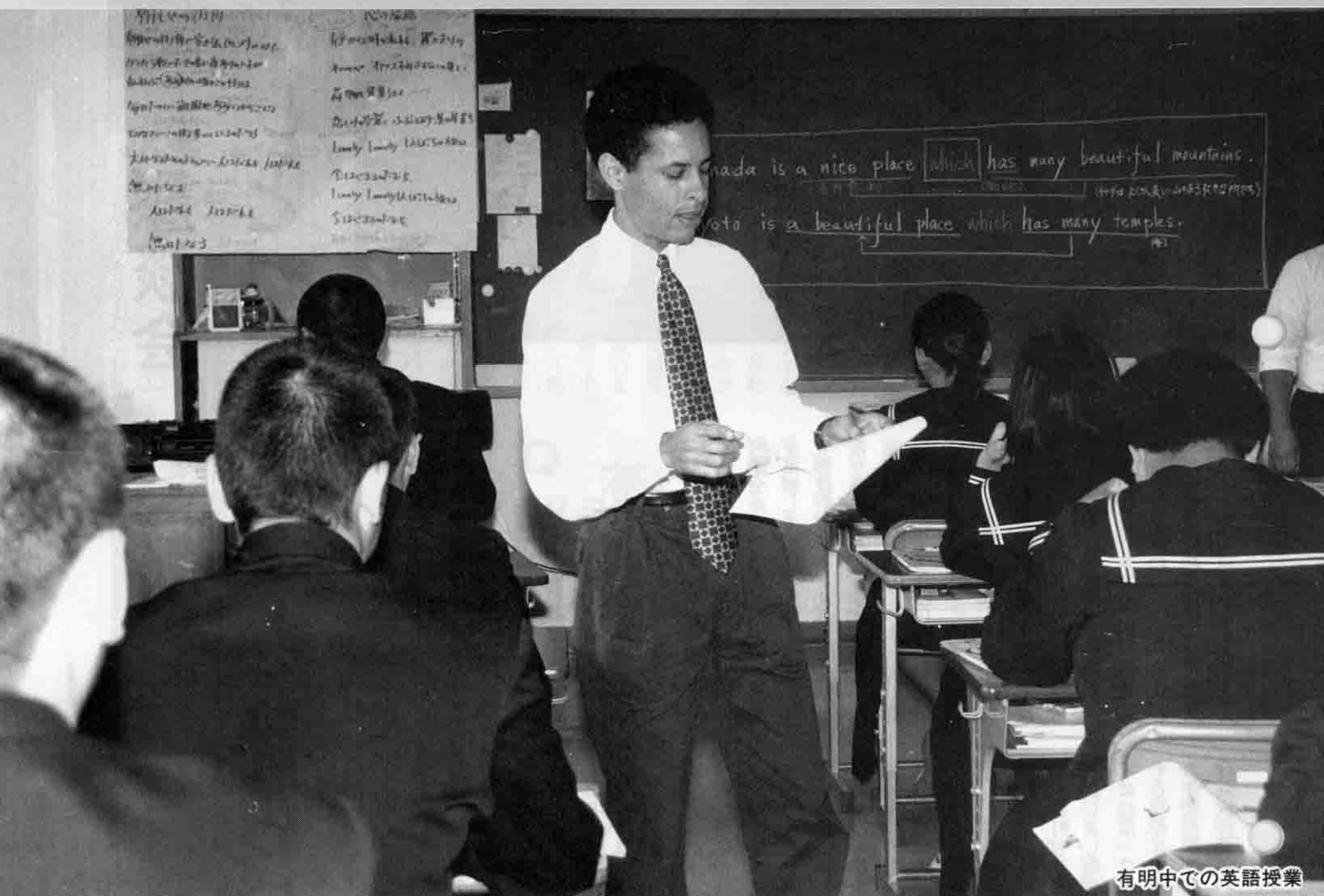




有明中での英語授業

中学校に英語指導助手

「英語の授業が楽しくなったわ」「カーター先生はとても熱心」英語教育の向上と国際理解を進めるため、外国青年を招いての中学生英語科授業がことし7月から始まりました。外国青年カーター・ジェイソンさん（写真中央）は、アメリカカリフォルニア州生まれの24歳。子どもたちとすぐに打ち解け、評判は上々です。柿岡中2週間、園部中、有明中、南中がそれぞれ1週間ずつ巡回しての授業。本ものの英語に接し、コミュニケーション能力を養い、国際人として大きく飛躍してください。



第3回行政懇談会

心をひとつに確かな暮らし



こととして三回目を数える行政懇談会がこのほど、地区単位町内八か所で開かれました。九月二十七日の小桜地区をはじめ、十月十二日の柿岡地区まで、地区公民館を会場に午後七時から九時までの二時間、住民と町執行部が話し合いを行いました。秋の取り入れ時期にもかかわらず、延べ二百八十八人が参加、町政や集落の身近な問題などが話題となりました。そのうち主なものを要約し紹介いたします。

町執行部からは町長をはじめ、

収入役、教育長、課室局所長が、町議会からは議長と地元選出議員が出席しました。

懇談会に参加された方々は、小桜が三十三人、林が四十四人、園部が四十九人、瓦会が三十人、恋瀬が三十六人、芦穂が三十七人、小幡が三十四人そして柿岡が二十五人。全地区合わせると二百八十八人（対前回比四十三人減）を数えました。そのうち女性の参加者は二十六人（対前回比同数）でした。秋の農作物取り入れの忙しい時期にもかかわらず、多くの熱心な方が参加され、日ごろ関心を持っている問題について卒直な意見

が交わされました。

懇談会は、町長の施政方針や重点政策事項の説明にはじまり、議長、地元選出議員あいさつ、各課室局所長紹介と続きました。

町長はその中で、「清潔で真に住民本位の町づくり」を基本理念として町政推進に臨んでまいりましたが、今後とも初心を忘れることなく、町民の意見によく耳を傾け、多くの町民が町政に参加され、ともに町づくりを進めていきたいと話しました。そのような町づくりにには第一に県畜産試験場を誘致するなどして魅力ある産業と観光の育成、第二に生涯学習時代にむけた教育文化の向上、第三にゴミ

処理対策や道路整備など住みよい環境づくり、第四に高齢化社会への対応として福祉医療体制の確立。さらに、町の基礎的基盤を充実させるための都市計画の基本構想づくりなど、基本政策を説明しました。また、住民サービスの向上と職場環境の改善を図るため、平成五年度と六年度で新庁舎建設を予定通り行うことを明らかにしました。

道路整備に18件

各方面から計78件

懇談会は、本町教育長が議長となり、出席者の皆さんからの質問や意見、そして町執行部の応答といった形で進められました。

質問や意見の内容と件数は、道路整備関係十八件、他用途利用米及び転作など六件、学校整備五件、朝日峠、上曽峠トンネル化の見直し四件、税金の滞納問題四件、都市計画及び宅地開発関係四件、信号機設置の要望三件、下水道整備三件、庁舎建設が三件など各方面から合計七十八件出されました。

そのうち比較的関心の高いと思われる項目を選び、次に掲載しました。答えは町長はじめ執行部が行ったものをまとめたものです。

上曽峠トンネル調査開始

Q 大増から小見間の通学道路の補修をお願いします。

雨が降ると、浅いU字溝に土砂が埋まり道路が冠水してしまいます。

A U字溝の未整備か所は町内に相当ありまして、土側溝の場合、土砂が埋まって溢れてしまします。排水整備は区長さんを通して申請して頂いております。

申請か所からしますと一〇%程しか毎年整備ができないという難点があります。通学路と明示して申請して頂き、よく検討してみたいと思います。

U字溝の伏せ替えもあるようですが、U字溝を布設しても勾配の



新しく出来た歩道を通学する子どもたち（加良寿理地内）

緩い所、あるいは土砂の流入しやすい場所は、詰まって水が溢れることもありまして、そういった所については、地元の協力をぜひお願いしたいと思います。

それぞれの申請か所については、現地をよく調査し、できるだけ早い機会に要望に応えられるよう努力してまいりたいと思います。

Q かねて町長にもご努力願っている上曽峠のトンネル化のことで。トンネルができれば必ず町発展につながりますので引き続きの努力をお願いします。

A 県道石岡下館線は交通量も一番多く、県西と鹿行をつなぐ重要な道路です。

平成元年に石岡、八郷、真壁を含む九市町で期成同盟会を設け、県のほうへトンネル化の陳情を重ねております。

県では、下館土木事務所が主管で、平成二、三年度に、航空写真を撮ったり、平面測量をしたり、概略図を作成したりということをしてしています。県では平成四年度初めて調査費五百万円を計上しており、

五年度も計上しています。現在、ルート選定の細かい調査をしているところですが。

なお、県西では、八郷、石岡に負けない程、一生懸命陳情を繰り返しています。上曽峠のトンネル化にむけて、町執行部、議会も含めましてより一層努力していきたいと存じます。

Q 人間ドックの補助については、一機関に対しての助成であって、他の機関で受けた場合はその対象になっていないそうです。どの機関で受けても対象にしてもらいたいのですが。

A 人間ドックの関係は、町と石岡医師会病院との間で

委託契約を結んでおり、

一医療機関で受けた場合のみ補助金を出すしくみになっています。

ただし、補助額は一万五千円、国民健康保険被保険者のみということで現在実施しております。

他の医療機関で人間ドックを受けた場合でも、補助の該当にしてほしいという要望が、ほかの被保険者の方からもございますので、いま、来年度以降にむけて、該当させるべく内部検討をしているところですが。

滞納整理に最善の努力を

Q 議会だよりに税金の滞納が相当多いと書いてあり、

驚きました。高額納税者は新聞など公表されておりますが、滞納者についても、一千万円以上の法人、三百万円以上の個人について公表していただきたいのですが。

A 滞納は累積でかなりの額になります。滞納の原因はいろいろあると思いますが、保険税と一般の町税合わせると相当の額にのぼります。

プライバシーの問題もあり簡単に滞納者の個人名を公表すること

委託契約を結んでおり、

一医療機関で受けた場合のみ補助金を出すしくみになっています。

ただし、補助額は一万五千円、国民健康保険被保険者のみということで現在実施しております。

他の医療機関で人間ドックを受けた場合でも、補助の該当にしてほしいという要望が、ほかの被保険者の方からもございますので、いま、来年度以降にむけて、該当させるべく内部検討をしているところですが。



好評のみそ作り講座（中央公民館）

で最善の努力をし、取り組んでまいりたいと存じます。

Q 現在の教育に欠けている「心の教育」を生涯学習の場を通して進めたいと思いますが、はどうなっているのですか。

A 生涯学習の時代をむかえ、町においてもただ今、生涯学習体制づくりを行っております。平成四年度に生涯学習の推進本部を作りましてその後、推進委員会が設立されました。

生涯学習は、行政全体で取り組む課題であり、どのような政策もその道に通じるものでなければなりません。行政側の努力もさることながら、住民のみなさんの生涯学習にむけた積極的な取り組みが最

も重要です。

具体的には、中央公民館の講座等を主体にしながら、地区の集会場でも活用いたしまして、学習の機会、仲間づくりを提供しています。また、だれがどこで何をしたいかといっても何も分からなくてはどのようにもなりません。そこで、今回、生涯学習の情報システム提供を中央公民館に設置することになりました。その中には分野ごとの指導者も含まれています。

都市計画はあすの町づくり

Q 南中の入口の道路は朝、車の通行が激しいため、できれば信号機をつけていただきたいのです。押しボタン式でも結構です。

A 南中学校の入口は大変危険だということで、現在県へ要望しております。信号機については、ご承知のように町で設置することはできません。あくまでも県公安委員会の方で設置することになります。早急に設置していただくよう警察を通じて県へ要望しております。

Q 八郷に都市計画が導入されたとのお話がありました。が、導入にあたって損する方、得する方大分出てくると思います。この線引きについての基本的な考



最近信号機が設置された
佐渡塚十字路

えを教えてください。

A 線引きとは都市計画の最終目標です。損する方、得する方という質問ですが、長期的に見ればだれもが得するはずだということでございます。

ここで、都市計画のスケジュールをちよつと説明いたします。

昨年九月に都市計画地域の指定を受けました。国有林と一部の保安林を除いた全部の地域が一般計画区域に指定された訳です。そのため、今後、建築あるいは構造物を作る場合、建築確認が必要になります。本年度は都市計画の基本構想をつくります。将来どんな町にするのか、という計画です。

さらに、平成六年度を目標に基本計画を作成します。これは一歩

進めて、具体的な事業をあげたり、地図上に道路、下水道など具体的に示します。七年度には用途地域といって、ここは工業地域とか、住宅地域とか、商業地域とかを決めたいと思います。地域指定されずとも規制も伴います。

もちろん、行政が一方的に決めるのではなく、住民の皆さんと十分話し合いをした上で、用途地域を決定したいと存じます。

線引きとは最終目標。皆さんご承知のように市街化区域と市街化調整区域に分かれます。

取りあえず、線引きの前の用途地域を目標にして計画を進め、さらに方向づけができた時点で線引きまで行なうべきだ、という意向で皆さんのご意見がまとまれば一番いいことです。いずれにしても線引きは、もう少し先に行った段階で判断したいと考えております。

Q 観光シーズン時、フラワ―パーク周辺の道路が混雑して通勤などで困っている方がたくさんあります。二、三キロメートルもつながるようになると、緊急の時に困るのではないかと、問題もあります。

A 一つには土地改良課関係でフラワ―パークのう回路として、加生野から川又にかけての農道を平成五年度に舗装整備する予定です。一方、月岡から加生野までを幅員六メートル程度の農免道路を整備したい、ということ。現在、県のほうにお願いし、県では、国の採択を受けるべく努力しているところです。

恋瀬川改修へ陳情重なる

Q 片野の水害の問題ですが、恋瀬川の河川改修はどのようになっているのか。お伺いいたします。

A 恋瀬川は一級河川です。改修についても全部、県の事業で行う訳です。町でも地元皆さんともども県への陳情を重ねております。

平成四年度改修事業の予算は、一億八千万円つぎまして、石岡の恋瀬橋の下流四百メートル地点からの用地買収と築堤工を行い、五年度は恋瀬橋から府中橋の買収と

もう一つは建設課関係で、県道土浦八郷線を起点に片野と川又の間から富士山の裾を抜けてフラワ―パークへ通じる道路と、石岡から県畜産試験場予定地の根小屋を通過して土浦八郷線に到達する、この二本の道路を昨年からの県のほうに陳情しております。

昨年からの取りかかった陳情ですが、ことしからすぐ着工とはいかないと思いますが、県と町で行っているフラワ―パークでもありますし、地元の皆さんに五月の連休など非常に迷惑をかけていますので、この道路を一日も早く完成させて、渋滞緩和ができるよう進めていきたいと存じます。

築堤工一千二百八十メートルほど行う予定です。ここは二億六千八百万円という国補事業で取り組んでいます。六年度から九年度は河道掘削をして水をたくさん流させるためさらに二千二百メートルほど実施する計画です。

国補事業で取り組むのは半田の先の橋まで。千代田との境界から上流は、単県事業で進めています。調査測量が済むと、光安寺橋から上流の右岸、片野側堤防を三百二十メートルにわたり六十センチメートルから一メートルのかさ上げ

を行うそうです。

下流の改修が整備されれば、水はけがよくなり片野であふれなくなるのは当然ですが、急を要するのですぐ施行してほしいと何度となく要望陳情をくり返している訳です。河川改修は下流のほうからというきまりがありまして、だんだん上がってきている状況です。かなり地元の皆さんの熱意が通じまして、先が開けてきたというふうを考えております。

Q 高齢化社会に対応するため、町では老人ホームや特別養護老人ホームを設置する考え

があるのか。また、そういう計画が持たれているのかどうかお聞きします。

A 現在、町から老人ホームに入所している方は三十人ほどございます。

主に石岡の明翠苑と玉里村の晴風園に入っておりますが、たまたま入所希望がありました時、遠い所しか空いてなく、北茨城市、猿島町、つくば市など遠いホームに入所してしまつて、なかなか家族の方が面会に行けないという不便な状況もあります。

町でも先日、老人保健福祉計画

という検討会がありまして、その中で、平成十一年には八十人近い寝たきりの方の老人ホームへの入所が予測されています。これから老人ホームに限らず、デイサービスセンターや介護センターが町内になれば高齢化の波に対応しきれなくなつてしまいます。

特に、特別養護老人ホームが町内に一か所もないことが老人福祉対策上、非常に困っている状況です。そういう中で、柿岡の医師さんが、老人ホームをぜひ作りたいということで、昨年から運動しております。

桜井町長が消防長に

桜井町長が十月十五日付で新治地方広域事務組合消防本部消防長事務取扱いに就任しました。新治地方事務組合は、八郷町、千代田町、出島村、新治村の四町村からなり、消防、ゴミ処理、老人福祉センター施設の事務を共同で行っております。消防は本部を千代田町に置き、八郷、千代田、出島、新治のそれぞれに消防署を設置し、合わせて百二十人の職員で、防火と救急業務にあたっています。

火災発生の時や急病、ケガを

した時、最も頼りになるのは消防署です。通報と同時に駆けつけて、私たちの危機を救ってくれます。消防長就任にあたり町長は「広域事務組合管内八万五千人の生命と財産を守るため、消防体制の充実を期したい。特に最近、火災発生が増加傾向にあり、皆さんの協力を得て十分注意を払っていききたい」と話していました。



消防長に就任し、八郷消防署を訪れる桜井町長

この老人ホームを作るのに約十億円の資金がかかります。町自体が作ってもなかなか運営がむずかしいので、その計画が進められれば町としてもできる限り援助をしたいということ、ぜひ作ってくれるよう同意しております。



老人福祉に欠かせない移動入浴

新庁舎は6年度完成予定

Q 新庁舎の建設がいよいよ着工の運びとなる訳ですが、新庁舎の概要と、完成して引越したあとの現庁舎の利用活用をどのように考えているのか、お聞きいたします。

A この度、新庁舎建設が議会等のご承認を賜われれば、ことしと来年度の二か年間で出来上がります。

新庁舎は、柿岡の中央公民館そばに建設を予定しております。鉄筋コンクリート一部鉄骨造りの地下一階、地上四階建てで、建築面積三千三百二十・七〇平方メートル、延床面積六千八百六十五・七九平方メートルです。

駐車場は皆さんにご不便をおか

けないよう隣接地に、公民館の駐車場と合わせ約五百台程度が駐車できるスペースを確保する予定です。

事業費は、総額で約三十億円を予定しており、財源は、基金が十五億二千万円、残りは一般財源と起債で賄います。

新庁舎完成となると現庁舎の跡地利用がクローズアップしてきます。現在、商工会などから使用したい旨、陳情いただいております。町としても跡地をどのように利用して、今後の町の活性化につなげるか、考えていかねばなりません。今後とも皆さんのお力添えを賜り、お知恵をお借りしたいと、このように考えております。

伝統文化と自然尊重の生活

県南四郡町村会（新治、筑波、稲敷、北相馬郡）主催による町村職員海外派遣研修が十月二十一日から三十日まで十日間にわたり行われました。行先はオランダ、イギリス、ドイツ、フランスの四か国。各国行政事情などの視察や調査をすることにより、見識をもった人材を養成するのが目的です。三回目の今回は、総勢三十五人が参加。町からは出納室長の鈴木竹義、住民課長の足立毅、税務課長補佐の西村幸徳、秘書広聴課係長の岡野孝男が参加しました。四人の海外研修レポートを紹介いたします。



昼食を準備しているオランダの老人ホーム

フライバシー保護 自由な老人ホーム

新老人ホーム「ニューグリンランド」は、オランダの首都アムステルダム郊外のザンダム地方にあります。一九六三年に開設された同老人ホームは二年前に建て替えられたそうで新しくきれいな建物でした。そこに入所しているお年寄りは一九二人（うち六組が夫婦）。六十五歳になると老人ホームに入所する資格ができ、経費は年金・フランス国からの補助で賄っています。



老人福祉が確立されているザンダム地方

フライバシーを大切にする国柄のため、それぞれの部屋にドアがあり、心配のない施設に個人的に自由に住んでいるという状態です。日本の老人ホームが数人同部屋で生活しているのに比べると全く違った印象です。

「ニューグリンランド」にはお年寄りの生活を支えるため、約百人の方が働いています。常勤者が七十人、キッチンが十五人、パースタイマーが五人、ほかはボランティアが支えています。

地域に根ざし

コミュニティに活用

また、入所者の平均年齢が八十五歳に達していることから医療システムも必要で、医者五人と看護婦二十五人が、それぞれの個人に適した、きめ細かな医療、看護にあたっています。

身近になると近くに住むお年寄りも集まり、同老人ホームで昼食をとります。昼食代は六百円以下。また、一時入所のショートステイ制度も取り入れ、福祉施設としての充実をはかっています。特に地域の人たちが余暇活動としてコンサート、お芝居、コーラスなどの催しを行い同老人ホームが、地域の集会所の役割を果たしているのが印象に残りました。もちろん地域の人たちと入所しているお年寄りのコミュニティションもうまくいっているようです。ザンダム地方には、

海外研修日程

十月二十一日 成田空港から十二時間飛行機に乗り、十七時にオランダのアムステルダム到着。時差が八時間あるため、夜から夜への移動となった。

二十二日 終日アムステルダム。午前世界一といわれるアールスメア生花中央市場視察。栽培農家が多く鉄骨ハウスが並ぶ。一番多い花はバラ、次いでカーネーション、チューリップ、キクの順。午後は社会福祉団体「ニューグリンランド」を視察。

女性経営者ブッテンシュさんの老人福祉への情熱に感服する。

次いで「アンネの日記」で有名なアンネ・フランクの生家を訪れる。ドイツ軍のユダヤ人迫害のむごさを改めて思い知らされる。夕方、運河めぐり。運河の町にふさわしく、四方八方に運河がはりめぐらされている。

二十三日 空路ロンドンへ。十時三十分、ロンドンヒースロー空港着。着後、エリザベス女王の別邸ウィンザー城を視察。荘重でスケールの大きい建築物に感動。まさに大英帝国のお城。

二十四日 終日ロンドン。午前セントポール寺院、ロンドン塔、バッキンガム宮殿を視察。

同じような老人ホームが十五もあり老人福祉の充実がうかがわれます。ただ、オランダの家族制度は日本と違い、同居は存在せず一世代夫婦のみの生活。一概に比較はできません。しかも、最近、政府予算が全分野でカットされ、先行きが不安とか。高齢化社会をむかえた私たちに新老人ホーム「ニューグリーンランド」は、さまざまな問いかけをしているようでした。

クラシック似合う ミュンヘン郊外

ドイツではミュンヘン市郊外のランツフルト市を視察。ヒットラーが作ったと言われる制限速度なしのアウトバーン（高速道路）を走りぬけると両側は自然にマッチした農村風景が目に入ります。黄金色に色づいた広葉樹の広大な森の中に点在する赤いレンガ作りの建物は、「赤ずきんちゃん」や「ヘンゼルとグレーテル」の童話がそのまま絵になっているようです。バスの中はワーグナーやモーツァルトの音楽がかかり、クラシック音楽発祥の地といった世界が延々と繰り広げられます。農村風景を過ぎると小さな街並みに入ります。その中心地にランツ

フルト市庁舎が建っています。特に大きな看板もなく、入口が狭い質素な建物。月に一回開かれる市議会議場に通され、コール首相に似た総務部次長のピーター・シュテッターさんから説明を受けました。ランツフルト市は、人口六万人で面積は六十七平方キロメートル。八郷町の半分にも満たない面積です。ドイツ連邦は一番小さい組織が市町村、次いで郡、県、州、連邦の五段階からなっています。同市の属するバイエルン州には人口三十万人のミュンヘン市から一人の小さな村まで二千を数える自治体があります。自治体はそれぞれに独立した政治形態を持ち、下

から民主主義を築き上げることが徹底しているようです。彼らは政治権力が中央集権になることを拒否し、小さな権力を持っています。

電気・ガス・病院も 自治体で設置運営

文字通り地方分権が成立しており、地方自治体の特長を生かしてすべてを決めることができます。ドイツ連邦は、法律によって選挙などの業務を依頼するだけでほかは特に干渉しないとか。日本に比べドイツは、自治体の自由裁量権が大きく、歴史と社会構造の特長を生かし、魅力ある個性的な町づくりを進めているようです。

市長の任期は六年。五〇%以上の得票率を得なければ当選できず多くの立候補者が出て達しなかった場合、上位二人が三週間後にもう一回選挙を行い決定します。市



ランツフルト市議会場で説明を受ける研修生



童話の世界を連想させるミュンヘン郊外



左から岡野、西村、足立、鈴木

長は直接選挙で選ばれるため、非常に強い権力と決定権を持っています。市参事会（市議会）は四十人からなり、六年に一回の選挙で選ばれます。

市の重要事項はこの市参事会で決定されますが、市にとって比較的關係の少ない問題は二十ある委員会決定されることもありま

す。市職員は二千。内訳は八百人が病院、四百人がガス水道電気、四百人が建築関係、そして四百人が事務職です。

市は発電所をはじめ、あらゆる施設を作り運営しています。行政が市参事会の決定通り行われているかどうかを監査するのがバイエルン州の役目。地方分権が確立されているドイツ連邦に私たちは学ぶことが非常に多いようです。

同宮殿は英国女王のロンドンの公式宮殿として英国王室のシンボルともなっている。また、歴史と伝統のある近衛兵の交替式を見学。日曜日のため、劇場、コンサートホール、デパートなどすべて休み。

二十五日 空路ミュンヘンへ。十一時ミュンヘン着。着後、オリンピックスタジアム、マリエン広場、ニュンヘンブルク城など市内視察。公園や空き地はもちろん、家と家の間にも広葉樹などの樹木が植えてあり、それらの葉が黄金に色づき、風にひらめいている。歴史のある街並と自然がよくマッチしてる。

二十六日 終日ミュンヘン。いまだ約百年前に造られたというアルゴイ地方の山にそびえる王宮ノイシュヴァンシュタイン城を視察。内装と壁画の豪華けんならに感動する。道すがらの自然景観もメルヘンの世界。

二十七日 午前はランツフルト市を視察。午後、空路パリへ。

二十八日 終日パリ。ノートルダム寺院、ルーブル美術館、コンコルド広場など市内視察。美術館には世界の名画が展示されており、各国から見学者が訪問。

二十九日 午前はベルサイユ宮殿、ラファイエット都市を視察。午後パリ発。空路成田へ。

町立恋瀬保育所

恋瀬保育所は、足尾、加波、吾国の連山が見渡せる大字小見の中心地に、地区公民館と隣接して建てられています。

現在、四十八名(二歳から六歳)の児童を年齢別、三クラスに分けて保育しています。四月の入所当初はおっかなびっくりの動きだった新入所児も、四月下旬に行われる春の親子遠足を境に、兄さん姉さん格の年長児と活発に遊ぶようになります。

年間行事は親子遠足をはじめ、町の福祉バスを利用した園外保育(年四回)、運動会、発表会、も



ちつき会など楽しみいっぱいです。なかでも毎年一月に開かれるもちつき会は、全員が小さなきねで代わる代わるにもちつきに参加し、つきあがったもちを、あんころもちやきな粉もちにして食べます。また、園庭の一部を利用した観察園では、チューリップやサツマイモを植え付けています。こと

盛りだくさんな行事で 地域に根ざした保育を



行儀よく一列に並んでの楽しいイモ掘り大会

しも五月に苗の植え付けをしたサツマイモが大きくなったので、全員で楽しいイモ掘り大会を行いました。一方、初夏に掘り取ったチューリップの球根は、来春卒園していくみどり組(年長児)に保育所の思い出として配付しています。同所周辺には、地域のかたがたの熱意によって作られた児童公園や遊具を備えた集落センターが、恵まれた自然環境の中に数多くあります。体力づくりを兼ねた散歩などに積極的に利用させていただ

いております。児童の保育所生活の中で大きな楽しみの一つでもある給食では、果物や野菜といったもので季節感をとり入れ、運動量や発育を考えて栄養バランスのとれた食事づくりに心がけております。父母の会(吉田保会長)のご協力をいただくとともに、さらに密接に連携しながら、ますます広がる地域の保育ニーズに十分応えられるよう、楽しく明るい保育所をめざして職員一同努力しています。

町長の日記帳から



十月の主な動向はつぎのとおりです。

八郷は準優勝と健闘

桜井盾夫

土浦地域身体障害者スポーツ大会は十月十六日、出島村多目的運動公園で開かれました。八郷からの参加者は十六名。午前中は五十メートル競走、車イス競走、ピンツリ競走などの個人競技です。皆さん全力を傾注して競技に取り組み、観戦している私たちもグンと力が入ります。

団体競技は、玉入れ、綱引き、クヌ玉割りなどの町村対抗戦。応援席のかん声や拍手も一段と高くなります。

この大会には、千代田町、伊奈町、八郷町、新治村、出島村、谷和原村、玉里村の七町村が参加しました。みなそれぞれに一生懸命プレーをし、優勝めざしてがんばりました。八郷はチームワークよろしきを得て準優勝と健闘しました。

すがすがしい秋空のもと、身体が不自由にもかかわらず思いっきり競技に熱中している姿には、胸を強く打たれました。

十月の主な動向はつぎのとおりです。

- 一日(金)小中学校音楽会
- 三日(日)芦穂小学校運動会
- 四日(月)行政懇談会(恋瀬)
- 七日(木)消防ポンプ伝達式、行政懇談会(芦穂)
- 八日(金)新治地方広域事務組合議会、行政懇談会(小幡)
- 九日(土)町スポーツフェスティバル
- 十一日(月)フラワーヒル区懇談会
- 十二日(火)農業共済組合議会、行政懇談会(柿岡)
- 十三日(水)郡町村議会議員ソフトボール大会
- 十五日(金)新治地方広域事務組合消防長の辞令拝命
- 十六日(土)土浦地域身障者スポーツ大会
- 十九日(火)議会全員協議会
- 二十一日(木)二十二日(金)区長連合会研修
- 二十四日(日)商店街活性化委員会役員との懇談
- 二十八日(木)町政モニター会議
- 二十九日(金)小桜地区地籍調査推進会議、小型消防ポンプ伝達式

同和問題の理解のために ③

部落はなぜつくられたか



士農工商の身分制度が、永遠に続くかどうかは、圧倒的に人口の多い農民をどう支配できるかというものでした。農民が力をもたないようぎりぎりの生活をさせました。「生かさぬように、殺さぬようにせよ」というのが、徳川家康以来の農民政策でした。重い年貢のほか生活のすみずみまで規制され、不自由な生活を強いられました。生活は苦しく、生命をつなぐ最低生活さえ満足にできないほどでした。

人がつくられました。非人はえたとより低い身分とされましたが、一定の期間、例えば五年以内のうちに、特定の条件（身もとたしかな引受人など）があった場合、「足洗」あるいは「足ぬき」といって、非人からもとの身分に戻ることができました。非人は自分たちのほうが身分が上だと、えたを見くだし、お互いの間に対立感情が生まれ、いわゆる最底辺にある者同士が反目しあいました。これも幕府が民衆を分裂させ支配する政策の一つだったのです。

職業の制限と差別

これらの農民は、幕府の政治に当然不満や反感をもつようになり、また、その時、幕府は決まってこう言いました。「お前たちより、もっと苦しいものがあるのだ」と指差したのが「えた」の人々でした。つまり、えたという身分を農民の反感のはけ口として利用したのです。そのためには、必要以上にえたの人々を低い身分に落とすべく必要があったのです。農民は名実ともに、自分たちより下の身分の者がいるという優越感で、苦しい生活をがんばったのです。

えたの身分の下には、さらに「非

部落の人々の職業は、わずかに与えられた土地を耕すほか、主な仕事は次の二つでした。その一つは皮革製造の仕事で、牛馬を処理し、皮革の製造をしました。その第二は村役といわれる下級の警察、刑の執行に関するものでした。また農民が政治に不満をもち、一揆をおこそうとすると、部落の人々は、スパイの役をさせられました。一揆がおきて、城下町に押しよせると、城下の人口

にある「役人村」は一揆を防ぐ第一線として利用されました。

この村役人という職務が、部落に対する民衆の差別や恐怖の意識をかりたてることになりました。また幕府や大名は、部落に、下級警察の役料として、農民から収穫の一部を取りたててることを許しました。このことは、農民が部落への反感をつのらせるものにもなりました。部落の人たちは、その仕事を強制され、また、その仕事か与えられず、拒否もできなかったため、農民の憎しみやうらみの的になりました。このようにして、武士から、同じように、きびしく支配されているもの同士が憎み合われたのです。

他の村民との交際もできにくくなっていきました。そこでは、差別を受ける者だけがたまって、その仲間だけで交際し、共同作業や助け合いが始まりました。そうになると、ますます他の農民と隔たりが大きくなり、結婚はもろんのこと、神社の祭りに参加すること、山の薪をとることも制限されていきました。

こういうことが長く続くと、差別することがあたりまえのこととして、人々の中にしみこみ、部落の人は生きる権利さえ、無視された扱いを受けるようになっていったのです。完県同和資料より

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

シクラメンまつり 最終日にはオークション



ントします。

そのほか、花の売店では各種シクラメンを多数とりそろえて販売します。

贈答用、観賞用として人気の高いシクラメンを、この機会にぜひお買い求めください。

また、最終日の十二日には、午後二時四十五分から毎回好評のお客さん参加による「展示品オークション（セリ売り）」も行います。

なお、十二月から開園時間が午前九時から午後四時（入園は午後三時三十分まで）となりますのでご注意ください。

八郷町の文化財

15

風雪に耐え千年の時を刻む

佐久の大杉

県指定 昭和十六年三月十六日
所在地 八郷町佐久 鹿島神社

樹高 約二十メートル

幹の太さ 八・八メートル

樹齢 推定千三百年以上

佐久集落の中央に鹿島神社があります。大杉はこの神社のご神木であり、通称「佐久の大杉様」と呼ばれています。

伝承によると、大和時代の後期西暦六五〇年ごろ、第三十六代孝徳天皇の代に、朝廷政治派遣の後裔がお手植えされた杉といわれています。室町中期の応永三十四年（一四二八）十一月に神社創建の



おり「すでに千年に近い杉」といわれており、元禄十六年（一七〇四）に武蔵権守を迎祀創建のときは「千年を越す巨木であった」といわれています。

また、いつのころから語り継がれてきたのか不明ですが、佐自塚にまつわる民話伝説の中にも「大杉神社」として語られています。

近所の人々は、大杉様と深く信仰し、大杉の樹皮を神棚に祭って家内安全・災難除を祈願したり、戦時中は出征兵士がこの樹皮をお守袋に納め、身の安全を願って出陣しました。終戦となり無事帰還した方々がお礼参りする姿も数多く見受けられたといわれています。



大杉は、小鳥や小動物たちの楽園の地でした。育てたり遊ばせたり、夏の夜など「デレスケテンペー・ゴヘ・ゴヘー」という鳴き声も聞かれました。荒れ狂う暴風雨や大雪、数度の落雷の傷にも耐え忍んできました。

柿岡から百目鬼を過ぎると、広い水田の先に堂々とした大杉の頭部が目立ちましたが、昭和四十一年の台風で枯損した上部十メートルほどが倒壊し、さびしい姿に変容しました。それでも残る数本の太枝に緑葉を飾り立派に生命を保ち続けています。

長い日本の歴史、八郷の変遷を見守り続けてきた大杉は、果の天然記念物にも指定されており、まさに八郷の象徴としても恥じることのない巨樹といえます。余命いくばくもないであろうと惜しまれている大杉を、八郷の誇りとして少しでも長く保存していきたいものです。

●最近気になる病気

在宅酸素療法

石岡市医師会病院

呼吸器内科 木口

俊郎医師



高齢化社会が定着してくるにつれて、わが国でも慢性呼吸不全の患者が増えてきています。慢性呼吸不全とは、息切れや呼吸困難が慢性的に続いている状態であり、症状が軽いうちは階段を上ったり早歩きしたりしたときに息が切れる程度ですが、症状が進むにつれちよつと動いただけでも息切れや呼吸困難を自覚するようになります。

原因となる病気としては、肺気腫が代表的であり、ほかに慢性気管支炎、難治性気管支ぜんそく、古い肺結核などがあげられます。いずれも数年から十数年というゆっくりした進行が特徴であり、ほとんどが、なんとなく最近息切れがすると自覚するくらいです。また、これらの病気は中高齢者に多く、六十歳以上の方でこのような症状がある方は、一度検査を受けることをお勧めします。

治療はほとんどの場合、酸素

吸入が効果をもたらします。しかし、つい最近まで酸素は病院に入院して吸入するもので、なかなか家庭での酸素吸入は困難とされてきました。酸素ボンベは扱いが難しく、一歩間違えたら危険であるからです。

このような状況の中で、最近、酸素濃縮器が普及するようになってきました。これは空気の酸素を特殊な吸着器によって濃縮し、八〇～九〇パーセントという高濃度の酸素を作り出すことができます。しかも電源を入れスイッチを入れるだけでという簡単なものです。現在では保険適用にもなり在宅酸素療法として確立されており、これにより自宅にいながら酸素を吸入する治療法が急速に広まりつつあります。

このように積極的に酸素療法を行うことにより、日常の生活における行動範囲を広げ、生活の質の向上を図ることも可能になってきております。

サバとごぼうの

南蛮漬け



食生活改善推進員 飯村とめ（山崎）

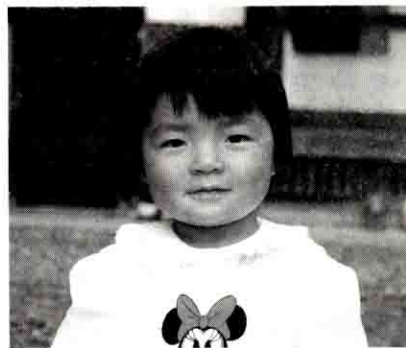
材料（4人分）

サバ240g（4切れ） 酒小さじ2 生姜汁小さじ½
 ごぼう80g 長ネギ20g 人参20g 赤唐辛子少々 片栗粉少々 A〔しょうゆ大さじ2 酢大さじ2½ 酒大さじ1½ 砂糖大さじ1 だし汁大さじ1½〕

作り方

- ①サバは1切れを3つに切り、酒・生姜汁をかけておく。
 - ②ごぼうはさがきにして水にさらし、水気を切って、熱湯で4～5分ゆでる。
 - ③人参は3cm長さの千切りにする。
 - ④材料Aに、種をとり小口切りにした赤唐辛子を入れ、煮立ててからバットに入れ、②③を漬ける
 - ⑤サバの水気をふき、片栗粉をまぶし170℃の油でカラリと揚げ、熱いうちに④に漬ける。
 - ⑥器に野菜とサバを盛り、赤唐辛子をのせる。
- 熱量234カロリー 蛋白質12.7g 塩分1.4g

わが家のアイドル



菖蒲沢

中村 冴里ちゃん

父 剛さん 母 晴代さん
 平成4年1月31日生まれ（長女）

♥家族からの一言

犬と野菜が大好きです。
 特に、トマトときゅうりの丸かじりはお手の物。
 元気でやさしい素直な子に育ってほしいです。

みどり生き生き

八郷の自然

⑭



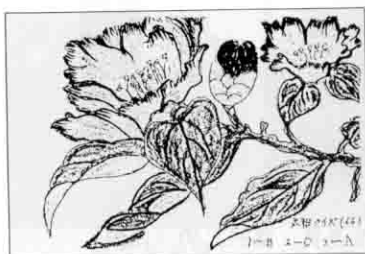
子供の遊びに、羽根つきがあった。スポーツとして流行しているバトミントンと同じような遊びである。この遊びの用具が羽根と羽子板である。羽根は小指の先ほどの木の実に、にわたりの羽根を数枚つける。この実が無患子である。茶の実でいどの大ききで、真っ黒で硬い。八郷では自生する種類ではなく、寺院などに栽植されているが数は少ない。太田の善光寺の境内に巨木があり、今ごろ実が落ちる。実は、餡色の皮で包まれており、この皮は昔の石けんであった。物資の不足した戦時中は争ってこの実を拾って利用した。実は羽根をつけ遊具にされたが、本年のような不作の年には炒って割りくだし、食用ともされた。

無患子と桐羽根つきの材料に

羽根を打つ羽子板は桐材が最適であった。軽くて意外に丈夫な桐が重宝されたのである。桐はかつて農家の庭先や畑地などに数多く栽植され、有利な樹種であった。県の桐栽培の中心地である石岡市や美野里町に隣接する八郷町には桐材を扱う業者もかなりあり、今では想像もつかない状況であった。桐は鳳凰という瑞鳥の止まる樹とされ、高貴な紋章となっている。国土の広大なフランスでは街路樹とされているとのことである。紫の花、香りがフランス人の美意識に合致しているためらしい。今ごろのつぼみにも捨てがた

い風情がある。利用がへり人間から放置されている桐ではあるが、花ときは見事である。関心をしめせば必ず応答するのが自然である。今から周辺に桐を探し、花ときにフランス人の心情を偲ぶことをお勧めしたい。桐といえば箆簞、特に女性に縁の深いこの家具には欠くことのできない材料であった。高級な桐は会津や岩手地方産で、岩手県では県の花ともなっている。年配の男性にとっては桐は下駄の材料としての認識が第一であろう。無患子も桐も、今、日常生活から消えようとしている。無関心になれば消えていくのが自然だ。凶作の米が自然や稲作の重視を訴えているようだ。

町文化財保護審議委員 軽部 豊



月岡 萩原志づ



さっちゃん



山崎 並木 泰子



真家 藤崎真里 (10)

私もひとりで

今年もまた、落葉の季節がやってきました。小さなわが家の周囲

は、隣家のケヤキ、イチヨウ、モミジなどの落葉大木に囲まれ、庭、屋根、雨といの中は、落葉でふさがれてしま

してくださいとも言えずゆううつな秋です。大木を庭木としておられるご家庭の方、どうぞご近所の声なき声をお忘れなく。

青

青 田から大型農道を集団登校で横切るとき、右側からくる車が見えないので、こわい思いをすることがあります。車はスピードがでているので本当にこわいです。事故がおきてからでは困るので一度見に来てください。よろしくお願いします。

青田 田上喜美(11)

♣ さっそく現場を見に行つて来ました。スピードを出している車が多いようです。

習字コナ

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水

芦穂小一年 臼井亜友美

恋瀬小二年 萩原 竜太

ねん
うすい
おゆみ

二年 荻原 竜太 正午

元氣いっぱい大きくできています。

男の子らしく元気ある作品でよろしい。

筆つかいも上手です。

ますます頑張ってください。

あるというので聞きました。

ところで、横断歩道や標識は県の公安委員会というところが設置することになっていて、町で勝手に設置することとはできません。町では、皆さんから要望があった場所を調査し、公安委員会へ設置申請をしています。お父さんやお母さんに話して地区の区長さんかあるというので聞きにきました。

ところが、残念なことに子供たちが発表しているときに、ムタ話をしていいるお母さんたちが結構いるのです。最初は遠慮がちに、でも、しだいに熱が入って、完全に舞台に背中をむけ後ろの人と話し出すお母さんも。

ら役場へ申請してもらってください。
喜美さん、これから登下校や遊びに行くとときなど、交通事故にはくれぐれも注意してください。

また、ドライバーの皆さんもスピードは控え目に。登下校の時間帯はもちろん、子供たちを見かけたら十分注意

授業参観などでも、必ずといっていいほどヒソヒソと話をしているお母さんがいます。「そんなに大事な話があるんだったらゆっくり廊下でどうぞ」と言いたいのを後々のことを考えると何も言えず、グッとがまんしている私です。

消防交通係
してあげてください。

後々のことを考えて匿名希望

先 日、子供の学校で文化祭があり
クラス対抗の合唱コンクールが

♣ 子供は親の背中を見て育つといいます。お母さん方気をつけてください。

フラワーパークの入場券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 68

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①中学校英語指導助手のカーター
さんの出身地はどこ？

(A)カリフォルニア (B)テキサス
(C)オレゴン

②ことしの行政懇談会では何件の
質問・意見が出されたか？

(A)78件 (B)79件 (C)80件

③佐久の大杉が県の文化財に指定
されたのはいつか？

(A)昭和36年 (B)昭和26年
(C)昭和16年

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ68と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプレゼン
トします。

☆締切日 平成5年12月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙1月号

【広報クイズ66の当選者の発表】

正解は1-B、2-C、3-Aでした。
応募34通、正解33通の中から次の
10名が当選しました。

山口節子(上林) 田村幾夜(根
小屋) 伊東紀江(上林) 鬼沢真奈
美(小幡) 飯村孝信(太田) 滝本
理恵(柿岡) 友部高宏(柿岡) 菱
沼かつ子(東成井) 菅谷よし(下
青柳) 友部ちい子(山崎)

〔敬称略〕



小幡 鬼沢恵美子(10)



宇治会 入江 恵(6)



あんず

やさと文芸

短 歌

吉田次郎選

秋の陽の畑一面にきらめきて野菜畑は豊作に見ゆ

山崎 小松みき

静々と降りつく雨に秋色は深み行くなり木々の梢に

山崎 鈴木君江

十六夜の名月拝む足もとに虫の音色の細く淋しい

月岡 萩原照子

俳 句

綿引鼓峰選

石地蔵埋るる程に草茂る

東成井 小島せん

厨辺の野良犬を追う夜寒かな

弓 萩原 力

それよりの一人暮らしの夜長かな

須釜 小林 康芳

俚 謡

大木 嶺月選

今年しや長梅雨冷たい夏で稔りさびしい里の秋

柿岡 上 曾 醉人

校舎新築運動会も村を挙げての秋日和

上 曾 足立 喜一郎

すすきお箸で栗柿団子今宵十五夜月まつり

大塚 友部 ゆき江



小学生が作った貯金箱。どれも
かわいい力作ばかりです。

(柿岡郵便局で)

やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 一一三)

身障者スポーツ大会金メダル7個

第三十一回県身体障害者スポーツ大会
が十月二十四日、県立笠松運動公園で「友
愛と希望で結ぶ集いの輪」を合言葉に開
催されました。
町からは選手、応援団を含め二十二名が

秋の一日さわやかにサイクリング

秋季町民サイクリング大会が、さわや
かな天候にめぐまれた十月三十一日、約
六十名が参加して開催されました。
中央公民館を出発した一行は芦穂地内
の農道をとおり最初の目的地十三塚へ。
次にフラワーパークというコースでサイ
クリングを楽しみました。
十三塚では柿狩りも楽しむなど、秋の
味覚をたっぷり味わい、楽しい一日と
なりました。

山田さん全国コンクールで特選

園部中学校三年生の山田ふみ江さんが
第四十一回統計全国グラフコンクールで
特選に輝きました。受賞作品は「悩み多
き中学生―茨城県心のダイヤル相談の
実態から」です。コンクールには全国か
ら約六万二千点の応募があり、特選と入
選作品合わせて五十二点選ばれました。

作品を仕上げる時特に注意したこと

は、細かいミスをしないで一つ一つ丁寧
に書くこと。その間、お父さんや美術の

先生にアドバイスをもらったそうです。

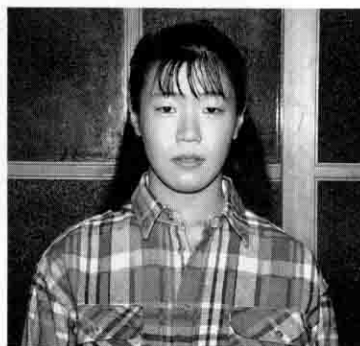
山田さんは「中学生最後の良い思い出
になりました」と受賞の喜びを語ってい
ました。



ときめき
ティータイム

開田和代(片岡・22歳)さん

趣味はスキー。休日はドライブ
に行ったりします。理想の男性は
思いやりがあつて、輝いている人。



■訂正 十月号の「わが家のアイ
ドル」でアイドルの名前が「端穂
ちゃん」となっていました。が「瑞
穂ちゃん」の誤りでした。
おわびして訂正いたします。





宇治会の永瀬さん登山道を整備

宇治会の永瀬秀明さんは二、三年前から足尾山と加波山の登山道の整備をしています。永瀬さんは、以前に東京の学生が山中で迷子になったことを聞き、自分も山が好きなのから登山道をきれいにしようと思ったそうです。

登山道は最初ひどい状態で、二メートル

ルものクマザサがおおい、どこが道かわからない状態でした。登山道の草を刈り、要所に看板を付け、昔からある水飲み場をきれいにすると、立派な登山道に生まれ変わりました。整備した後は訪れる人も増えたと言うことです。写真は、整備を手伝ってくれた子供たちといっしょに。



スポーツ少年団秋季大会

町スポーツ少年団秋季大会が、総合運動公園で九月十一・十二・十五日、十月九日の四日間にわたり開催されました。大会には野球十五チーム、バレーボール二十チームが参加、試合はA・B二クラスにわかれ、リーグ戦で戦われました。結果は次のとおりです。

(Bクラス)▽優勝 桜スポーツ少年団
▽準優勝 小幡スポーツ少年団▽三位 柿岡つくばねスポーツ少年団
バレーボールの部(Aクラス)▽優勝 つくばねスポーツ少年団▽準優勝 桜スポーツ少年団▽三位 小幡スポーツ少年団・東成井スポーツ少年団(Bクラス)▽優勝 小幡スポーツ少年団▽準優勝 吉生スポーツ少年団▽三位 瓦会スポーツ少年団・桜スポーツ少年団

元気な歌声大講堂に響く

町小中学校音楽発表会が十月一日、中央公民館大講堂で開かれました。

当日は、各校二曲ずつの合唱を披露、大講堂にいっぱいのお母さんたちも、元気な歌声に熱心に耳を傾けていました。このうち町代表として、東成井小学校

小幡小学校、小幡小学校、園部中学校、柿岡中学校の五校が十月十五日に出島村で開催された郡大会に出場。さらに東成井小学校と柿岡中学校が郡代表として十月十一、二日に開催される県芸術祭への出場権を手に入れました。

スポーツニュース

茨城県ゲートボール クロツケー大会

茨城県高齢者スポーツ大会が十月二十一日、笠松運動公園で開催されました。予選を勝ち抜いた十六チーム(ゲートボール・クロツケーとも)が参加し、熱戦を繰り広げました。土浦地区代表でゲートボールの部に出場した東成井チームは準優勝に輝き、クロツケーの部に出場した瓦会下宿チームもよく健闘しました。

萩原杯

バレーボール大会

十月十七日、総合運動公園で開催。男子六チーム、女子十四チームが参加しました。

男子の部 優勝 キヤロット 準優勝 柿岡 三位 園成、小幡A
女子の部 優勝 8ポイント 準優勝 柿岡 三位 園成、小幡A

お父さんソフトボール

連盟会長旗大会

十月二十四日、総合運動公園で開催。十チームが参加しました。
優勝 大塚ソフト 準優勝 陣場 三位 フラワーヒル、南山崎

叙勲・功労者紹介

町発展に大きな貢献

秋の叙勲がこのほど発表され、町内からは元町議会議員の原田孟さん(75)が受章しました。地方自治発展のため長年努力してきた功績が認められ、原田さんの喜びはひとしおです。これとは別に、元大増小学校長の吉田茂雄さん(88)が高齢者叙勲を受章し

ました。吉田さんは教育力向上のため献身的努力を重ねた功績が認められました。一方、茨城県老人クラブ功労者の表彰が十月十九日、県民文化センターで行われ、町内からは上青柳の桜井常雄さん(75)と山崎の外保田晃寿さん(78)の二人が受彰しました。

勲五等瑞宝章(地方自治)

原田さんは昭和三十五年、地域の皆さんから推され、町議会



原田 孟さん
半田・75歳

議員に当選し、同四十五年まで五期二十年間の長い間在職されました。特に同四十五年から五年間議長として議会の円滑な運営に尽くされました。また、副議長、総務委員長、産業経済委員などを務められ、崇高な政治信念のもと、町の生活

基盤の確立と教育・文化・福祉・産業経済の発展向上に大きな貢献をしました。

また、農業の振興を図るため、生産基盤となる土地改良事業や農業改善事業にいち早く取り組み、現在のような大型農業機械の利用ができるは場整備事業のリーダーとしても活躍されました。さらに、八郷・小桜両農協に強く働きかけ

「一行政圏一農協」が望ましいことを唱え、昭和六十三年両農協合併に努力され、新しい八郷町農業協同組合を誕生させました。これらの功績が認められ、晴れて今回の叙勲受章となりました。

原田さんは「この度はからずも関係者のご配慮により叙勲の光栄に浴しましたこと厚く御礼申し上げます」と笑顔で話されました。

勲五等瑞宝章(教育)

吉田さんは大正十三年、小幡尋常小学校の代用教員をはじめとして昭和三十七年に退職するまでの四十年間、地域の教育力向上と発展に貢献しました。

その間、いつも教育に対する使命感に燃え、児童生徒の教育に携わったかわら、地域の青少



吉田 茂雄さん
柿岡・88歳

年の教育にも貢献しました。昭和十四年には小幡農業青年学校助教

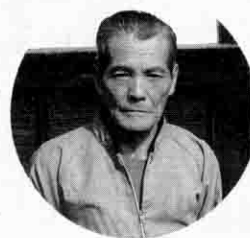
諭、同二十年には林農業青年学校教諭を務められ、農業に従事する青少年に、農業教育の指導をし、情熱を傾け献身的な努力を重ねました。

また、昭和二十九年、小幡村立下青柳小学校長を、同三十一年には八郷町立小幡小学校長を務められ、小規模校の経営に力を注ぎました。地域住民はもとより、職場を同じ

くした教師、当時の児童からも親しまれ、惜しまれると共に高い評価を得ています。これらの功績が認められ今回の受章となりました。

吉田さんは「叙勲をいただいたことは大変名誉なことだと思えます。大正十三年、教壇に立つてから教育一筋の幸せな人生を歩ませていただきました。ありがとうございます」と喜びを話されました。

会の運営にほん走



久保田晃寿さん
山崎・78歳

「園部地区老人クラブ会長七年など十二年間役員を務め、いまは顧問。月三回の定例会、年一回の旅行、会員が亡くなった時の弔辞など年平均六十日程度かかります。今後も円満な会運営を心がけたいと思います。」

様々な行事を企画



桜井 常雄さん
上青柳・75歳

「小幡第五老人クラブ(上・下青柳・加生野)会長を十一年間務めております。お茶飲み会、旅行、カラオケ大会などの事業や奉仕作業として墓地清掃、公民館の掃除をしています。受彰の栄に浴しうれし限りです」